

パンフレット

「科学館が 科学の視点で わかりやすく伝える 新型コロナウイルス」

Q & A

高知みらい科学館が制作したパンフレット「科学館が 科学の視点で わかりやすく伝える 新型コロナウイルス」について、本文で説明しきれなかった部分を補足するため、Q&A を作成しました。

新型コロナウイルス対策の参考にしていただければ幸いです。

Q1 布マスクは効果があるのか？

布マスクも含め、マスクには、咳や会話のときに口から出る飛沫が飛ぶのをおさえる効果があります。

ただし、布マスクに限らず、ふつうのマスクは、ウイルスを通してしまうので、入ってくるウイルスを防ぐことはできません。

新型コロナウイルスは症状のない感染者も多いといわれていることから、自分が感染していた場合、ほかの人にうつさないために、マスクをする必要があります。

Q2 マスクをしていたら、「3つの密」の場所に行っても良いか？

マスクをしていても、「3つの密」の場所に行ってはいけません。

「3つの密」の場所では、空気中にウイルスを含んだ飛沫がただよっていると考えられます。

ふつうのマスクは、ウイルスを通してしまうため、「3つの密」の場所に行くと、ウイルスを吸い込んでしまうことになります。

Q3 いろいろな人がさわる物にはさわらないほうが良いか？

いろいろな人がさわる物は、ウイルスがついている可能性が高くなりますので、もちろん、さわらずに済むならさわらないほうが良いですが、日常生活ではそうもい

きません。

本文にも書いたとおり、手からウイルスが入ってくるわけではありませんので、さわったあとに手を洗うことを心がけていれば、感染を防ぐことができると考えられます。

Q4 アルコール消毒は必ずしたほうが良いか？

アルコール消毒よりも手洗いを優先に考えたほうが良いです。

せっけんで丁寧に手を洗うことにより、手についたウイルスの多くを洗い流すことができますので、手が洗えるときは、それで十分だといえます。アルコール消毒は手が洗えないときに手洗いの代わりに、または、手を洗ったあとに補助的に行うという考えで良いと思われます。

特に、アルコールに弱い方は、無理にアルコール消毒をせず、丁寧な手洗いをするほうが良いですね。

Q5 ウイルスがただよっている空間を消毒することはできるか？

ウイルスが空間にただよっていると、感染のリスクが高まります。

しかし、消毒剤などを直接空間に吹きかけるのは危険です。ウイルスに強い消毒剤は、人の健康にも良くないことが多いからです。また、アルコールは引火してしまう危険性もあります。

ウイルスがただよっているかもしれない空間は、消毒しようとするよりも、換気して空気を入れ替えるのが良いと思われます。そもそも、ウイルスがただよわないようにするためにも、はじめから風通しの良い空間にしておくことが大切だといえます。

Q6 日々の「感染者数」の数字をどうとらえれば良いのか。

日々、各都道府県の感染者数が報告されていますが、日によって、また、都道府

県によって、検査数が全く違いますので、1～2日で、増えた／減ったとって、一喜一憂するのはあまり意味がありません。ここ1週間と、その前の1週間を比べるなど、ある程度の期間で比べたほうが、傾向が分かります。

もちろん、人口の多い東京や大阪と比べて、感染者数が少ないからといって、「まだ大丈夫」などと考えるはいけません。さらに、同じ県の中でも一部の地域に感染者が集中している場合、その地域は、より感染拡大のリスクが高まっていると考える必要があります。

また、累積の感染者数には、すでに退院した人も含まれていますので、この数字は増え続けることとなります。ある程度の期間で比べたときに、新しい感染者数が少なくなり、退院する人が増えてきたら、新型コロナウイルスは収束しつつあるといえます。

ただし、県内で新しい感染者が出なくなっても、しばらくは感染者がゼロになることはありません。症状のない感染者も多いため、収まってきたからといって、油断すると、また感染者が増えてしまいます。

一度収まったように見えても、また、緊急事態宣言が解除されることになっても、「3つの密」を避ける行動や、こまめに手洗いすること、マスクをつけることは、しばらく続けるべきだといえます。

Q7 どうなったら感染者が減るのか。

1人の感染者が、平均で1人未満の人にしかウイルスをうつさない状態が長期間続くと、感染者は減っていきます。反対に、1人の感染者が、平均で1人以上の人にウイルスをうつしている状態が続いてしまうと、感染者は増えていきます。

日本での調査結果によると、感染者のうち、約80%の人は、誰にもウイルスをうつしていなかった一方で、何人かの感染者は、1人から多くの人にウイルスをうつしてしまっていました。それらの例は、いずれも、いわゆる「3つの密」にあてはまる状態で起こっていたといえます。

このことから、みんなが、「3つの密」を避ければ、複数の人にウイルスをうつしてしまう例を減らすことができ、結果的に、感染者を減らしていけると考えられています。

ですので、今後、新型コロナウイルスが収まってきたとしても、「3つの密」にあてはまるような状況になると、また感染者が増えることになってしまうため、注意が必要です。

Q8 気を付けていたら感染しないか。

いくら気を付けていても、どんな人でも、感染することはあります。ウイルスは目に見えないからです。

新型コロナウイルスに感染した芸能人などが、謝っているのを見ますが、感染した人が悪いわけではないので、謝る必要はありません。ましてや、感染した人を責めるようなことはするべきではありません。

今回の新型コロナウイルスは症状のない人が多いといわれています。誰がかかってもおかしくありません。みんなが、自分もウイルスをもっているかもしれないと思って行動することが、お互いに感染するのを防ぐことにつながります。

Q9 このパンフレットについて

このパンフレットは、科学の一般的な知識や、厚生労働省などが公開している情報を、高知みらい科学館が科学を伝えるプロとしての役割を果たすべく、「科学の視点で」「わかりやすく」ということを意識して制作したものです。当館が自ら制作したものですので、ご自由に印刷するなどしてご利用ください。

2020年4月26日作成



高知みらい科学館
Kochi MIRAI Science Center